

山縣・安藝・小川の三教授全國區から立候補

日本學術會議會員の第2回總選舉に當研究所から、瀨藤・兼重兩教授立候補されたことは前號でお知らせしたが、第2報として山縣昌夫・安藝皎一・小川芳樹の三博士の立候補をお傳へする。氏等は學術會議のため眞に求めらるべき人であつて、それぞれの推薦團體からは絶大の期待がかけられている。

山縣昌夫 (全國區)



現職 東京大學教授、造船協會々長、漁船協會、船舶工業標準協會等理事、熔接協會、日本海事振興會評議員、海上保安廳船舶設計審議會等委員長、學術獎勵審議會、造船技術審議會、造船業合理化審査會、日本工業標準調査會、日本海事協會管理委員會、日本學術會議理論應用力學連絡會、STAC熔接連絡部會の各委員。

略歴 大正10年東大工學部船舶卒同年通信技師、昭和9年國際船型研究所長會議出席、同12月工學博士、同15年船舶試驗所長、同18年運輸省船舶局長、同22年東大教授。

推薦者 造船協會、運輸技術研究所。

安藝皎一 (全國區)



現職 經濟安定本部資源調査會事務局長、東大教授、日本學術會議會員

略歴 大正15年東大工學部土木卒、内務省技師として本省勤務の外、鬼怒川、富士川等の改修工事に從事、昭和14年からは興亞院技師、興亞技術委員會幹事、大東亞技師を兼任して北支那河川の開發計畫に當つた。18年工學博士、19年東大教授兼任、21年内務省土木試驗所長、23年現職となる。24年には第1回日本學術會議會員となり、本年6~9月には洪水対策 土壤保全研究調査のため渡米、今回の選舉には土木學會の推薦をうけて立候補した。

小川芳樹 (全國區)



現職 東大教授、第一工學部冶金第二工學部冶金學教室兼任。

略歴 大正13年東大工學部冶金學科卒、同年東大講師、昭和2年東大助教授、同9年工學博士、同11年九大助教授、同12年九大教授、同17年東大教授第一工學部勤務、同18年第二工學部兼任。亜鉛製鍊及一般電解精製を専攻し、熔鐵の脱銅法についても研究この特許權を得た。日本鐵業會副會長として鐵産資源の技術的、經濟的再檢討に盡力しつつあり、目下冶金教育視察のため渡米中である。日本鐵業會の推薦で全國區から立候補した。